

心臓血管放射線研究会学術研究助成
学会報告記

氏名 倉田 聖
所属機関名(発表時) 愛媛大学医学部放射線科
発表学会名 ASCI 2011 (口演発表、展示発表)
学会開催年月日 2011年 6月 17日～19日
演題名

Assessment of Regional Myocardial Blood Flow using Stress Dynamic Myocardial Perfusion Computed Tomography (口演発表)
Evaluation of Aortic Atherosclerotic Plaque Using ECG-gated Multidetector Computed Tomography and 3-dimensional Trans-esophageal Echocardiography (展示発表)

優秀論文賞受賞 (無) 有()

学会報告記(800字程度・写真1枚)

締切:2011年6月24日

◇本文

2011年6月17～19日に香港で開催された The 5th Congress of Asian Society of Cardiovascular Imaging (ASCI 2011) に参加しました。

Hong Kong Convention and Exhibition Center という大きな会場に、中国、韓国、台湾、日本、シンガポール、タイなど数多くの国から 1000 人を越える循環器内科医と放射線科医が参加し、Opening session に伝統芸能の一つである獅子舞が登場したのはとても印象的でした。

メイン会場とサブ会場では、著名な先生方が各種心疾患における CT、MR、心臓核医学の有用性など各分野のレビューと展望を明快な講演され、特別講演では、Ricardo Cury 先生(アメリカ)は「Current Status of Cardiac CT」というタイトルで冠動脈 CTA、心筋 perfusion CT に関するこれまでの報告や現在進行中の大規模試験などについて講演され、Achenbach 先生(ドイツ)は「Coronary Plaque Imaging by CT」というタイトルで、狭窄枝の検出だけでなく、冠動脈プラークの種類とその臨床的意義についてハイリスク症例を検出するための冠動脈 CTA の有用性について講演されました。講演会場の出入り口・廊下に一般演題のポスターがところ狭しと並び、どれも内容の濃いものばかりでした。なかでも 韓国の Sumsung Medical Center の 128 二管球 CT を用いたダイナミック CT による心筋かん流評価などの臨床研究だけでなく、ベトナムの Medic Medical Center の左冠動脈肺動脈起始異常(Brand-White-Garland 症候群)の心臓 CT 診断や、日本の天理よろず相談所病院の心サルコイドーシス剖検例の心臓 MRI と病理組織学による検討や桜橋渡辺病院の心臓 CT を用いた多岐にわたる臨床研究など勉強することが出来ました。

二日目のレセプションパーティでは、円卓が用意され、本場中華料理だけでなく、中国伝統芸能の川劇(せんげき)の一つで変臉(へんれん)と呼ばれる仮面早変わりショーや香港の縄跳びチームの妙技など楽しいひとときでした。

もちろん、最終日の夜は香港の街に繰り出し、カエルの炒め物など前日とは趣の異なる中華料理もチャレンジし、来年タイで開催される ASCI に向けて次の臨床研究も計画しなければと心新たにしました。

最後に、学会参加費を助成いただいた心臓血管放射線研究会のみなさまに感謝申し上げます。

